

北足柄小学校学校だより

# やま桜

令和2年1月30日  
南足柄市立北足柄小学校  
第9号  
校長 藤澤 恭子

はやいもので、冬休みが終わり、子供達の元気な声が令和2年を迎えた校舎にもどってきて一カ月近くがたちました。

暦の上では、1月20日(月)は大寒。1月6日(月)の小寒から2月4日(火)の立春の前日までが一年中で最も寒い時期「寒の内」となります。

小寒の頃食べると良いとされているのが、正月で疲れた胃腸を休めるための食材「せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのぞ、すずな(かぶ)、すずしろ(大根)」です。1月7日に食べる「七草粥」が「小寒」の時期の食べ物とされ一年間の無病息災を祈る風習があることを、年頭の朝会で子供達に話しました。

では「大寒」に食べると良い食材は？調べてみたら「大寒の日に産まれた卵～大寒卵」を食べると健康に良いのだそうです。寒さに備えて栄養を蓄えた鶏が産んだ卵の中には、これまた栄養がたくさん入っていて、寒さを乗り切るための栄養補給に有効なのだそうです。

また、昔は井戸水を生活に使っていたので「大寒」の朝に汲んだ水は、その寒さゆえに極めて雑味が無く純度が高い水として長期間保管していたそうです。さらに、気温が低いと、じっくり発酵が進むので品質の良い物をつくることのできるため、味噌や醤油、日本酒などの蔵元では仕込みを始めるのは「大寒」からだそうです。

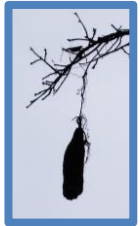
厳しい寒さも、大切な役割を果たしているのですね。

学校では、子どもたちは寒さに負けず、月曜日のマラソンタイムに取り組んだり、休み時間になると外で元気に遊んだりしています。

2月4日(火)は、立春。年度末に向けて、やり残したくないよう気を引き締めていきたいと思います。



今年も玄関の正月飾りを内山公民館より寄贈していただきました。ありがとうございました。



↑ 昨年の夏から桜の枝をつたわって実をつけた落ちないヘチマ。北小名物！縁起物です！

先日は、本校の職員が内山・矢倉沢・地蔵堂で行なわれたどんど焼きに参加させていただきました。昔からの風習を大切に守り受け継ぐそれぞれの地域の方々の思いを感じました。



大根をぬいたあとに並んだ、3つの穴が、何とかかわいらしかったです。

2年生が、立派なすずしろ(大根)を収穫して、その日のうちに調理しました。大根の自然の甘さがとっても美味しく、優しい味でした。ごちそうさまでした！

各季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日を「季節を分ける」という意味で、節分と言います。江戸時代以降は特に立春(2月4日頃)の前日を節分というようになり、豆まきなどの伝統的な行事が行われます。

図書館司書の鹿熊さんが、鬼にまつわる本を一堂にそろえてくださいました。



## 詩へのおさそい 3年生 図書室

3年生一人一人が自分が気に入った詩を紹介する小冊子を作って、皆に読んでもらうように図書室に置いていました。「自分はどうか工夫して読んでください。」「雪がつもっている感じがうかびあがります」「春や秋を感じられる詩・おもしろい詩を集めました」「どンドン春にいくような順番にしました」。とても素敵な詩へのおさそいです。思わず手にとってそれぞれの詩を味わいました。

## 令和2年 書き初め大会



1月9日(木)に毎年恒例の「書初め」を3～6年生は体育館で毛筆、1・2年生は教室で硬筆を使って行いました。静謐(せいひつ:心が落ち着いていて静か)な空気をお子達自身が作り出し、一文字一文字に向き合い真剣に書く姿は、崇高で尊いものでした。これも、北っ子のすばらしい伝統です。



## 百人一首大会



1月10日(金)に、ふれあいタイムを利用して「百人一首大会」を全校児童が各教室に分かれて異学年グループで行われました。

グループは、事前に抽選会と称して、くじびきで決めました。

百人一首は、昔は、お正月に家族や親せきで行う家がありました。近年では、競技カルタを題材とした「ちはやふる」という映画が話題になりました。

本校では、一年を通じて百人一首に親しむことができるよう文化委員会を中心に全校で取り組んでいます。学年に関係なく、上の句が読まれると「はい!」といって札を取る真剣な姿が見られます。百人一首を通じて、日本の昔から伝わる言葉や言い回しにふれたり、ルールを覚えて周りの人と楽しく遊ぶ態度を身につけたりすることができます。

子供達が創り続けている北足柄小学校のすばらしい文化です。

## 北足柄小学校のお宝 十二単カレンダー

職員室の入り口に、南足柄市内の学校に配付されている「横溝千鶴子教育基金記念事業 日々のおしえ 子どもたちへの メッセージ」という日めくりカレンダーが掛けてあります。一日ごとに心に響く言葉が記されています。

北足柄小学校のその日めくりカレンダーは、十二単のように美しいカレンダーです。毎日毎日めくっていくうちに、どうしても傷んでしまうへりを、庁務員さんが一枚一枚丁寧に色や柄のテープを縁に貼って、少しずつ修理をしてくださっていました。

物を大切に使う心遣いや、生活を楽しむエッセンスを感じる日めくりカレンダー。北足柄小学校のお宝です。



## 薬物乱用防止教室 5・6年生

1月16日(木)に、南足柄市ライオンズクラブの皆様を講師にお迎えして、5・6年生を対象に薬物乱用防止教室を開催しました。薬物乱用による害や、薬物から自分を守るために必要なこと等について説明がありました。

また、「やせるよ」「楽しくなるよ」「ビタミン剤だよ」「みんなやっているよ」「一度だけなら大丈夫だよ」「すぐやめられるよ」等言葉巧みに薬物に誘われる場面を想定して、代表の児童がロールプレイで断る体験もしました。

薬物乱用のもっとも恐ろしい特徴は「依存性」と「耐性」です。このことによって薬物を使う量や回数が増えていき、危険なサイクルに陥ります。友達や先輩からすすめられたり、携帯電話やインターネットサイトを見たりしても、きっぱりNOと断る勇気の大切さを学びました。



◆「一回くらいなら」という気持ちが一生をだめにしてしまいます。

◆きっぱりNOと断る!

やらない勇気が薬物の魔力からあなたの人生を守ります。

(神奈川県クリーンかながわ推進会議のパフレットより)

## 絵手紙教室 6年生

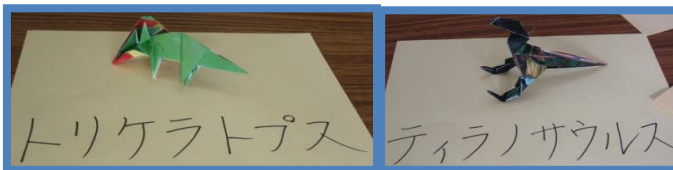
12月20日（金）に、内山福祉会（矢後昇坪会長）の皆様のご協力で、絵手紙教室を6年生対象に開催しました。講師の中津川先生の丁寧なご指導のもと、6年生10名が自分の選んだ花や果物・野菜をはがきに鉛筆で丁寧に下書きし、次に顔彩絵の具で色塗りをしました。どの子も真剣に集中して取り組んでいました。子供達一人一人が、感じたままに描き、世界に一つだけの作品を完成させました。スクールコーディネーターの鹿熊さんもお手伝いいただきました。ありがとうございました。



花や果物・野菜、画材は、内山福祉会の皆様がご用意してくださいました。



## 見事な折り紙の恐竜 参上！



実物の特徴を的確に表現された実にリアルな折り紙の恐竜を磯崎和美様（北足柄小学校第38代校長）より毎年、子供達のためにいただいています。分かりやすい折り方の説明書もいただきました。子供も大人も折り紙の魅力に感動しました。ありがとうございました。

## 来年の開花準備 全校ざる菊剪定



1月24日（金）に、環境委員会主催の全校ざる菊剪定がありました。今年の秋に、またかわいらしい花をたくさん咲かせるために、咲き終わった枝の剪定をしました。剪定小ばさみの使い方や、どの枝から剪定しようか不安げな1年生に、そっと寄り添っている高学年の優しい姿が素敵でした。

そして、そんな子供達の様子を見守る職員のあたたかいまなざしも素敵でした。

## 給食週間 1/24~1/30

給食は、明治22年（1889年）山形県の小学校で実施されたのを起源に、戦後昭和22年（1947年）に支援を受けて再開され、それを記念して給食週間が設けられました。改めて食べ物に感謝し、食生活を見直しまし



関東地方を中心にソフト麺が給食でつかわれるようになりました。袋を開ける食感が未だに忘れられないという方も多いようです。脱脂粉乳から牛乳に変わった時期です。

## 墓標の掃除 6年生

社会科で旧北足柄中学校にあった敵国人収容所について学習した6年生が、当時そこで亡くなった方々の墓標のお掃除をしたいと申し出てくれました。そこで、12月23日（月）に、6年生児童と担任と一緒に、旧北足柄中学校を訪ねました。とても寒い日でした。「校長先生、花挿しもきれいに洗ってあげたいので、水道を使ってもいいですか？」と言って、水の冷たさで手を真っ赤にさせながら一生懸命花挿しを洗っている子供達の姿や、墓標の周りの葉っぱや根っこを丁寧に取り除いている姿に感動しました。帰りに子供達と一緒に見た海まで一望できる景色のすばらしさと、子供達の優しさ…忘れられません。

※ 北足柄小学校ホームページでは、学校便り等をカラーでご覧いただけます。